

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	兼商デミリン水和剤
製品コード	AK3206J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所: 04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所: 04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺虫剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

分類実施日	2010/12/21(経済産業省より提供のH21年3月版事業者向けGHS分類ガイダンスを基に実施)	
物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉じん)	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分外
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

危険  
 吸入すると有害  
 眼刺激  
 発がんのおそれ  
 呼吸器系の障害  
 長期にわたるまたは反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害  
 水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

【安全対策】  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 粉塵等の吸入を避けること。

使用前に取り扱い説明書入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 指定された個人用保護具を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 粉塵等を吸入しないこと。  
 必要なとき以外は環境への放出は避けること。  
**【応急措置】**  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 取り扱った後、手を洗うこと。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 暴露した場合、医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 漏出物を回収すること。  
**【保管】**  
 施錠して保管すること。  
**【廃棄】**  
 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	1-(4-クロロフェニル)-3-(2, 6-ジフルオロベンゾイル)尿素 (別名 ジフルベンズロン)
分子式(分子量)	C14H9ClF2N2O2
CAS番号:	35367-38-5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法:       — 安衛法:       —
濃度又は濃度範囲	23.5%
[その他成分1]	
化学名又は一般名	シリカ
CAS番号:	14808-60-7
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法:       (1)-548 安衛法:       第57条の2(通知対象物質)
濃度又は濃度範囲	約28%
[その他成分2]	
化学名又は一般名	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル
CAS番号:	9016-45-9
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法:       (7)-172 安衛法:       —
濃度又は濃度範囲	1%
[その他成分3]	
化学名又は一般名	鉱物質微粉、界面活性剤等
濃度又は濃度範囲	約47.5%

### 4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢

皮膚に付着した場合	で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。 汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受け
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを 着用して容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

### 5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生 するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を 着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者 以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護 措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、 粉塵等を吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	風上から作業し、風下の人を待避させる。 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を 起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収 させる。 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体 換気を行う。
	注意事項 安全取扱い注意事項	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。 粉塵等を吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	保管条件	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
	容器包装材料	施錠して保管すること。 データなし。

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置を設置すること。
管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産衛学会(2009年版) ACGIH(2010年版)	吸入性結晶質シリカ 0.03mg/m <sup>3</sup> TWA 0.025mg/m <sup>3</sup> (石英)

<b>保護具</b> 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具  <b>衛生対策</b>	適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。 適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。 適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。 適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
--	---

## 9. 物理的及び化学的性質

<b>物理的状態</b> 形状 色 pH 比重(密度)	粉末 類白色 データなし データなし
---	-----------------------------

## 10. 安定性及び反応性

<b>安定性</b> <b>危険有害反応可能性</b> <b>避けるべき条件</b> <b>混触危険物質</b> <b>危険有害な分解生成物</b>	通常の条件下では安定。 通常の条件下では安定。 データなし データなし 通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。
--	--

## 11. 有害性情報

<b>急性毒性</b> 経口 経皮 吸入  <b>皮膚腐食性・刺激性</b>  <b>眼に対する重篤な損傷・刺激性</b>  <b>呼吸器感作性又は皮膚感作性</b>  <b>発がん性</b>  <b>特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)</b>  <b>特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)</b>	ラット経口LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。 ラット経皮LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。 吸入(粉じん): ラット吸入(粉塵)の4時間暴露 LC50 >2.71mg/Lに基づき、区分4とした。 ウサギにおいて皮膚刺激性がみられなかったことから、区分外とした。 ウサギにおいて軽度の刺激性がみられたが、7日間以内に回復したことから、区分2Bとした。 皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。 区分1Aに分類されるシリカをカットオフ値の0.1%以上含有することから区分1Aとした。 区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。 区分1に分類されるシリカをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。
---	---

## 12. 環境影響情報

<b>水生環境急性有害性</b>  <b>水生環境慢性有害性</b>	コイ96時間LC50値570 mg/L、ミジンコ48時間EC50値0.228 mg/L、藻類72時間EC50値>1000 mg/Lであったことから、区分1とした。 急性毒性が区分1であるものの、生物蓄積性が低い(BCF<500)ため、区分外とした。
--	---

## 13. 廃棄上の注意

<b>残余廃棄物</b>  <b>汚染容器及び包装</b>	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
-------------------------------------	--

## 14. 輸送上の注意

<b>国際規制</b>	<b>海上規制情報</b>	IMOの規定に従う。
	UNNo.	3077
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.
	Class	9
	Packaging group	III
	Marine Pollutant	-
	<b>航空規制情報</b>	ICAO/IATAの規定に従う。
	UNNo.	3077
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.
	Class	9
	Packaging group	III
	Marine Pollutant	-
<b>国内規制</b>		輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
<b>特別安全対策</b>		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

### 15. 適用法令

農薬取締法	第16864号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第一種指定化学物質： ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル(1-410)
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	第57条の2(通知対象物質)： シリカ(政令番号312)

### 16. その他の情報

#### 財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。